

「中野駅地区整備構想」の策定について

1. 整備構想の位置づけ

中野駅地区（中野駅・駅前広場周辺）は、「中野駅周辺まちづくりランドデザイン Ver.2」において、“駅とまちが融合する魅力的なにぎわい拠点”と位置付けられ、まちとまち、まちと駅を繋ぐ活力の要として、新たな歩行者動線整備や交通結節点としての機能強化を図ることとしている。

「中野駅地区整備構想」は、このようなランドデザインの指針に基づく中野駅地区の整備基本方針であり、歩行者動線計画、改札口および南北通路の考え方、駅前広場機能の考え方、自動車・自転車駐車場の考え方を示している。今後、これに基づき整備計画を策定するとともに、都市計画の変更を行うこととなる。

2. 策定の目的

- (1) 中野駅地区は、中野駅周辺の様々なまちづくりの進行に合わせ一体的な回遊空間ネットワークを形成しながら、まちの個性をつなぎ、賑わいの連続性を高め、広域的なまちの訴求力を高めていく。
- (2) 現状の中野駅の駅施設や駅前広場は、地形的なまちの分断や交通施設の機能不足等、交通結節点として様々な課題を抱えているため、今後、大きくその機能を改善し、更新させていく。

3. 策定までの経緯

平成21年04月	中野駅地区整備構想（素案）の公表
平成21年05月	意見交換会等の実施（9か所 5/12～7/23）
平成21年09月	中野駅地区整備構想（案）の公表 パブリックコメント手続きの実施（9/7～9/28）
平成21年10月	中野駅地区整備構想の策定